

広報

No. 164

くま

昭和62年2月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

4月に県議選・町議選	2
申告は3月16日までに	3
献血ありがとうございました	4
ふるさとの文化財	5
おしらせ	6~7
公民館だより	8~9
わだい	10

'87

2月

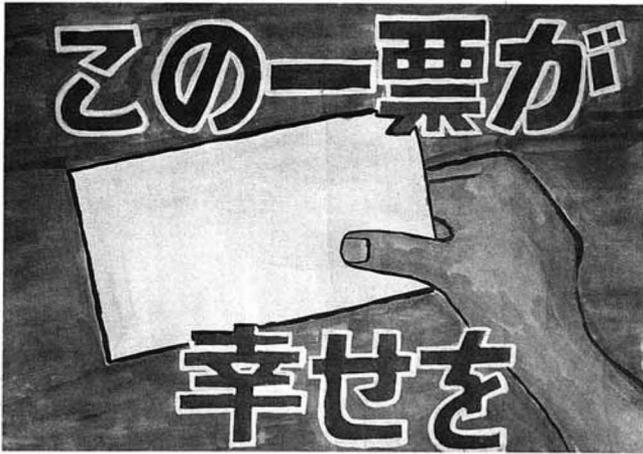
すまろとんくにか

10

“雪景”

(岩淵遺跡)





今年には統一地方選挙の年、四月に福島県議会議員と国見町議会議員の選挙が行われます。選挙とは、間接民主主義制度の根幹をなすものであることはいうまでもないことです。選挙で選ばれた代表機関の決定は国民の、あるいは住民の意志とみなされることから、その重要さがわかります。

今回の選挙は、町政から県政まで、わたしたちの意志を反映させる最大のチャンスです。ぜひ、有効にこの機会を生かしたいものです。

## 四月に県議選・町議選

今年の四月には第十一回の統一地方選挙が全国で行われます。この統一地方選挙とは、全国の地方公共団体の議会の議員と長官の多くが三月から五月の間に任期が満了するので、住民の選挙意識の高揚や選挙事務の運営上、特例法でこれらの選挙を統一して行うものです。

### 県議会議員選挙

4月3日 告示  
4月12日 投票

○投票できる人

●昭和四十二年四月十三日以前に生まれた人（投票日現在で二十歳以上）

●昭和六十一年十二月二十七日以前から引き続き国見町民である人。ただし、十二月十日以降県内の他の市町村に転出した人でも転出先の選挙人名簿に登録されていなければ当町で投票ができます。

○議員定数 四名

### 町議会議員選挙

4月21日 告示  
4月26日 投票

○投票できる人

●昭和四十二年四月二十七日以前に生まれた人（投票日現在で二十歳以上）

●昭和六十二年一月二十日以前から引き続き国見町民である人

○議員定数 二十名

有権者数（61年9月1日現在）  
8862人  
男 4259人  
女 4603人

町議会議員選挙立候補予定者に対する説明会の開催

統一地方選挙による国見町議会議員の選挙が、四月二十六日執行されます。

国見町選挙管理委員会では、この選挙に立候補を予定している方、またはその代理の方を対象に、次の日程で立候補の届出、不在者投票制度、選挙運動などの概要についての説明会を開催いたしますので、該当者はご出席ください。

一、日時 昭和六十二年三月二十五日（例）午後一時三十分

### 統一地方選挙投票の注意

○住所移動された方の投票方法  
これから三月、四月と人の移動時期をむかえて、四月十二日には、県議会議員選挙が行われます。住所を移動された方で転出先が県内の方は、次の方法により投票することになります。

① 転入届を昭和六十一年十二月二十七日まで出した方はその後、再転出しなければ、転入地の市町村で投票することになります。

② 右の期間後転入届を出した方は、以前の市町村で投票するのが原則です。しかし、少々手続きが面倒ですが、投票用紙を転入地に郵送してもらい、転入地で不在投票する方法もあります。

いずれの場合も、新住所地の市町村長の発行する証明書または住民票（写）などが必要になります。

③ 四月二十六日の国見町議会議員選挙については、投票日に国見町に引き続き居住していませんと投票できません。

※詳しくは国見町の選挙管理委員会にお問い合わせください。

# 町県民税・所得税・個人事業税



## 申告は3月16日までに

昭和六十一年分所得の、町県民税・所得税・個人事業税の申告時期となりました。

町では、税の理解と、申告の円滑化を図るため、次の日程で所得申告・納税相談を行いますので、忘れずに申告されますようお願いいたします。

◇期日 日程表のとおり(混雑をさけるため、なるべく指定日においてください)

◇会場 役場第一会議室(二階)  
(東側入口からお入りください)

◇時間 午前九時～午後四時

※必ず申告者本人がおいでください

◇持参するもの

- 一、配付されている申告書と印鑑
- 二、生命保険料、生命共済、建物共済および火災保険料などの払込証明書
- 三、医療費支払証明書(支払医療費が所得金額の5%または五万円を超える方)

### 昭和61年分 所得申告相談日程表

月	日	申告相談対象地区	
		午前部 (9:00~12:00)	午後部 (13:00~16:00)
2	12 木	小坂・太田川	前田・板橋
	13 金	泉田上・泉田中	泉田下・鳥取
	16 月	内谷西・内谷東	高城
	18 水	貝田北	貝田南
	19 木	山根	光明寺
3	20 金	大木戸・上野	山崎北・滝山・石母田東
	25 水	石母田表・石母田北	石母田原・石母田西・鶉町
	26 木	町東・宮東・耕谷	山崎館・山崎小館・宮前
	27 金	源宗山(東・西・北)・大坂	駅前・錦町
	2 月	大町南・大町北	本町・宮町南
3	3 火	宮町北	
	10 火	森江野第1	森江野第2・第3
	11 水	森江野第4・第5	森江野第6・第7
	12 木	森江野第8・第10	森江野第9・第11
	13 金	森江野第十二	原町・築館・並柳
	14 土	中部・北部	川内

四、譲渡所得のある方は売買契約書

五、申告者本人および家族の方が日雇、出稼などとしている場合は給与証明書

六、水稲、果樹、養蚕などの共済金明細書

七、大農機具などを昭和六十一年中に購入された方はその領収書

書

八、事業、商売などを行っている方は、総仕入、売上、経費などの帳簿

九、収入金課税方式の対象となる農作物(トマト、こんにゃく、なめこ、干柿、いちご、果樹なら、きゅうり、アスパラガス、しいたけ、いんげん、豆腐、養蚕、乳牛、専門野菜

畑)の収入金額の明細書および証明書

十、還付申告をされる方は、給与所得の源泉徴収票

十一、その他、必要と認められる資料、証明書などの書類  
※詳しいことは役場税務課(☎八五二二一一、有六一六三)におたずねください。

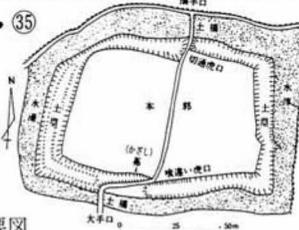
※混雑しますので、指定の日においてください。



# ふるさとの文化財

菊池利雄

## 塚野目城跡



塚野目城要図  
(国見町役場所蔵「塚野目村地籍図」によって作成)

塚野目城跡は大字塚野目字館前の地にあつて、南側は阿武隈川の氾濫原との比高が一六メートルを量る川岸段丘、北側は西根台地を深く浸食した普蔵川と、その支流である矢ノ目川が東流しその間を東に延びる舌状台地上(「遺蹟」に立地している。

明治の塚野目村地籍図から読みとれるこの城の規模は、東西

二二五メートル、南北九〇メートルの略長方形状をなす。東濠(堀)が水田、土塁で、地目は水濠跡が水田、土塁と本郭の一部が山林・草地の外は畠地となっている。濠幅は南側で七・一〇メートル、北側は一二・二メートルと広く、深さは未調査で明らかでない。土塁は西側の一部が残されており、底部で幅一二・二メートル高さ一〇メートルを量り、他の部分は畠地表面の高まりに痕跡をともめているに過ぎない。

南側の城門が大手口で、水濠を土橋で渡れば正面に敵の侵攻を阻み、郭内を見通されないよう土居の土居と呼ばれる一直線状の土塁が横たわり、右に進めば喰い違いの虎口(出入口)をへて郭内に通じていた。これは喰い違いの虎口から枳形虎口に移行する過程でみられる構造で、城郭の発達からみても重要な遺構である。北側の搦手口は大手口同様土橋によって城外へと通じ、虎口は土塁を切通した古い形式のもので、鎌倉時代の遺構とみられる。このように大手と搦手の虎口部の構造が相違するのは、鎌倉時代に築造されたこの城が、南北朝時代以降大手の虎口部が改造されたこと由来するとみられる。

この城の築城の時期は明らかでないが、佐藤庄司元治の家臣

塚之目大郎正則の居部との伝えもあるが伝説の域を出ない(「信濃村」文治五年の奥州合戦後伊達郡に下向した、伊達朝宗の曾孫に塚目次郎為時があり、為時は塚目を称したことからこの郷に居住し、塚野目城が居城とも考えられるが定かでない、為時の息塚目太郎家政は後武蔵国筒井に移住したとある。「伊達氏系図」成立年代が未詳とされる。「北畠武鑑」(鎌倉軍記)には、南北朝の観応二年(一一三三)二月、北畠正教が塚ノ目城に桶籠り、高師直の率える足利軍と激戦を交えて落城したとあるが、藤田城をめぐる合戦をあまり伝えられたものであろう。伊達種宗がその子晴宗と争った天文の乱中の天文十二年(一五四三)二月に、晴宗が大波二部に与えた書状には、「兵庫助方に於て者、塚目次郎前如く進投す」とあり(「伊達系図」)この時期塚野目郷は大波氏の支配地とされ、塚野目城が居城であった可能性もある。

昭和十四年皇国史観はなやかなりし頃、南朝の忠臣であった北畠氏を顕彰するため、主要地方道浪江・国見線西側の城跡に塚野目城跡の標柱が建立されている。

参考文献、国見町史一・二・四巻  
梁川町史、古代中世史料編

### 歳時記

# こたつ

こたつは頭寒足熱式の理想的な暖房として昔から親しまれてきました。

「最近家族のコミュニケーションがなくなつて困るけれど、冬になるとこたつに全員集まるので楽しい」と言っている人もいます。

「二存じのように、今は、昔のような木炭のこたつは影をひそめ、こたつといえば電気こたつです。それも家具調こたつなどといって、下側の出っ張りがなく、こたつを使わない季節にはテーブルとして利用できるものにも人気があります。」

近ごろは外国人にもこたつの愛用者が多いようです。米食、とくに寿司がアメリカで喜ばれ、また日本の布団を愛用する外国人が多いと聞くと、日本のヤングが、それらを見直す。逆輸入現象が目立ちますが、こたつもまたそうなるのかもしれない。

そういえば、一般に掘りこたつといわれる腰掛式のこたつをよく見かけますが、あれを最初に作ったのは、イギリスの陶芸家バーナード・リーチ氏で、明治の末のことだといわれています。

二月はこたつなどの暖房でエネルギーを多く消費する季節なので、資源エネルギー庁では、二月を「省エネルギー月間」と定めています。現在は原油価格の低下や円高の影響などで、エネルギー事情はひところほど悪くはありませんが、こういう時こそ油断せずにエネルギーを効率よく利用する習慣を身につけたいものです。





**交通遺児に  
育成資金を  
貸し付けています**

自動車事故対策センターでは、交通遺児などの育成のために必要な資金を、無利子で貸し付けています。

◎貸し付けを利用できる方  
一家の働き手の方が、自動車事故で亡くなられたり、重度の後遺障害が残るなどで生活にお困りのご家庭の乳幼児および小中学生

◎貸し付け期間  
中学校卒業まで

◎貸し付け金額

はじめに一時金十三万一千円、貸し付け期間中毎月一万五千円、小・中学校入学時に支度金三万六千円。

◎返還方法

中学校卒業から二年据置き、二十年以内の均等払い。なお、進学した場合は、卒業までの期間に返還を猶予。

申し込み手続きなど詳しいことは、自動車事故対策センター 福島支所(☎二一六六二六)にお問い合わせください。

**昭和六十二年度  
造林計画申請  
ならびに造林用  
山行苗注文受け  
付けについて**

昭和六十二年(春植)造林計画ならびに造林用山行苗の申し込み受け付けをいたしますので、造林地の字名、地番、地目、面積などをよくお調べのうえ、印鑑ご持参で福島森林組合事務所(☎三四一九〇一五、三四一九〇三四)または役場産業課まで直接お申し込みください。なお、都合により直接申し込みのできない方は、電話受け付けもいたします。

次に、造林用山行苗の注文につきましては、申し込みの約束を守るために、代金の一部(内金)をスギ(ヒノキ)苗木一本につき四十円、アカマツ(カラマツ)苗木一本につき二十円を預かることになっています。

一反歩以上の造林については、県の造林実査の結果、造林補助金が交付されます。詳しいことは福島森林組合事務所におたずねください。

昭和62年度  
造林用山行苗木価格表

樹種	苗齢	規格	価格
スギ	3年	60cm	1本当たり8.2円
		45cm	1本当たり8.0円
		35cm	1本当たり7.7円
ヒノキ	3年	45cm	1本当たり8.5円
		30cm	1本当たり8.5円
アカマツ	2年	25cm	1本当たり4.5円
		20cm	1本当たり4.2円
カラマツ	2年	45cm	1本当たり5.3円

**間伐で健全な  
山づくりを**

間伐促進  
補助金制度

山づくりには、間伐はかせません。このため国見町では、昭和六十年度から五ヶ年計画で間伐促進総合対策を行い、あなた山の「健全な山づくり」のお手伝いをしています。この補助金制度を活用して、健全な山づくりをしましょう。

詳しいことは、役場産業課までご相談ください。(☎八五一二一一有四一六四)

**伊達西根堀土地改良区域  
かんがい農地面積  
移動届出について**

昭和六十二年度の水利費賦課について、賦課の基準となります農地が売買などにより所有権に移動の出た方、経営移譲によ

り名義変更された方、または農地の貸借が行われた場合の水利費の支払者名を確認の上、伊達

西根堀土地改良区へ三月二十日  
まで届出てください。  
連絡先☎八二二二三一九

## 通算老齢年金などの支払月が年4回になりました

これまで国民年金、厚生年金保険および船員保険から年2回(6月、12月)支給されてきました通算老齢年金および通算遺族年金等の支払いが、昭和62年2月から年4回に変更されました。変更された支払月と支払年金額の内訳は右の表のとおりです。

支払月と支払年金額	
※注参照 2月の支払	11月、12月、1月の3か月分
5月の支払	2月、3月、4月の3か月分
8月の支払	5月、6月、7月の3か月分
11月の支払	8月、9月、10月の3か月分

(注) なお、昭和61年12月の支払いは昭和61年6月から11月までの6か月分を支払っていますので、昭和62年2月の支払いに限り、昭和61年12月と昭和62年1月の2か月分(初めて年

金の支払いを受けられる方は、支給開始年月から62年1月分まで)が支払われ、5月の支払いから3か月分ずつ支払われることとなります。

# 善意の窓

町社会福祉協議会に

◆奥山邦夫さん(宮町北)から  
五万円―故福太郎さんのご遺志

藤田小学校に

◆宋戸伊勢雄さん(町東)から  
三万円―故忠雄さんのご遺志

県北中学校に

◆宋戸伊勢雄さん(町東)から  
三万円―故忠雄さんのご遺志

◆奥山邦夫さん(宮町北)から  
二万円―故福太郎さんのご遺志

志

藤田保育所に

◆奥山邦夫さん(宮町北)から  
二万円―故福太郎さんのご遺志

小坂小学校に

◆桑折道場小坂方部一同から  
二万円―寒行浄財より教育振興費として

藤田幼稚園に

◆奥山邦夫さん(宮町北)から  
二万円―故福太郎さんのご遺志

## 戸籍の窓口

(1月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	部	落
明日香(あすか)	佐藤 与一	貝	田
政哉(まさや)	高橋 一博	高	城
一貴(かずき)	高橋 修一	宮	町
住織(かお)	黒田 健治	耕	北
すみこ	佐久間 貞市	川	谷
真(まこと)	武田 勝夫	宮	内
修(おさむ)	八巻 隆	徳	江
佑太(ゆうた)	佐藤 幸英	駅	北
涉(わたる)	菊地 孝義	石	母
里沙(りさ)	柳沼 良夫	母	田
健太(けんた)	齋藤 安昭	駅	西
			前
			前

結婚おめでとうございます

氏名	部	落
高橋 浩志	鳥	取
山家 信子	白	石

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	部	落
高橋 成夫	81	第	二
山戸 正英	71	宮	北
舟山 正子	81	町	一
佐藤 正二	73	第	一
戸田 正雄	70	町	東
佐々木 スズ	65	石	母
佐々木 セン	88	母	田
			北

## 昭和六十二年 朗読奉仕者養成教室 生徒募集

福島県点字図書館では朗読奉仕者養成教室生徒を募集いたします。

希望者は左記のとおり申し込みください。

募集人員 10名

申し込み場所 福島県点字図書館

申し込み期間 昭和六十二年三月十五日～三月三十一日まで

当日消印有効

募集条件

(1) 学生、生徒以外の方とする

(2) 基礎指導、五月から七月までの三ヶ月間(毎週火曜日)実技指導 八月から翌年の一月まで(月二回)

### 人口と世帯

2月1日現在(前月比)1月中のうごき

人口	男 5,804人(+1)	転入	14人
	女 6,197人(-3)	転出	20人
人口計	12,001人(-2)	出生	13人
世帯数	2,899戸(-1)	死亡	9人

午後一時三十分から三時三十分までの間県点字図書館にて受講できる方

募集要項

住所、氏名、年齢、職業、電話番号および郵便番号を明記した文書(ハガキ)をもって申し込みをすること。

受講生の選考

応募した方について、音声テープを実施し合格した方を当該教室の受講とする。

受講生の条件

(1) 受講に要する費用は一切無料とするが交通費は自己負担

(2) 養成教室を修了した者は、朗読奉仕者として、県点字図書館に登録し、録音図書製作に協力する。

2月 如月(きさらぎ)	3月 弥生(やよい)
16日(月) 全国狩猟禁止	1日(日) 全国緑化運動
19日(木) 雨水	6日(金) 啓蟄
万国郵便連合	7日(土) 消防記念日
加盟記念日	8日(日) 国際婦人デー
28日(土) 火災予防運動	15日(日) 満月

### 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室 (東側人口からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

[相談員]

2月25日(水) 後藤 一・玉手マルヨ

3月5日(木) 高橋藤右工門・安藤 トヨ

3月14日(土) 高橋 隆雄・佐藤八重子



# 成人式

国見町公民館  
☎85-2676  
(有) 4156



一月十五日午前十時から町公民館で成人式が行われました。この日大人の仲間入りをした百十一名は、町長職務代理者八島助役から「二十一世紀に向か

って、常に心に笑顔を保持して人と接し、社会のために役立ってください」と励ましたことばを受け、次いで成人証書、記念品などが贈られました。  
来賓を代表して賀藤町議会議長の祝辞があり、最後に成人者を代表して大枝の瀬戸正志さんが「一人間としての自覚と決意を持って、山積する課題に背を向けることなく精いっぱい努力します」と答辞がありました。  
式終了後、アトラクションに入り、金管アンサンブルの軽快な演奏を聞き、記念写真撮影を終えました。  
成人者たちは、二十年の思い出を級友と楽しく語り合っていました。

## 阿津賀志学級

### 寿祝い

一月二十三日恒例による新年会「寿祝」が行われ、互いに長寿を祝福しました。  
今年度の寿祝い該当者は、古希の方が十四名、喜寿の方が二十一名、米寿の方が五名、合計四十名の方が該当いたしました。  
寿祝いの式では藤田学級委員長、井砂公民館長のあいさつ、八島助役、賀藤議長、蓬田教育長から祝辞をうけました。



▲今年、古希・喜寿・米寿を迎えられたみなさん

れ、記念撮影が行われました。その後、藤踊会の方々による日本舞踊を観賞し、昼食をとりながら会員によるのど自慢などもありなごやかな楽しい一日を過ごしました。  
二月の学習から  
二月第一回の学習として六日午後一時三十分から、北、南米における日系人の現況について、元東北中学校教諭で県吹奏楽連盟理事長板垣直忠先生を講師に迎えて学習を行いました。  
先生は、再三にわたる渡米により、アメリカ、ブラジルの二ヶ国について活躍する日本人ならびに日系人の現状について、判



▲終了証書受与 — 少年仲間づくり教室 —

り易く講義があり、学級生は熱心に耳を傾けており、すばらしい学習会となりました。

## 閉級式

### 少年仲間づくり教室

二月八日(日)九時から公民館で、昭和六十一年度の少年仲間づくり教室の閉級式が行われました。  
この教室は六月の「きみもぼくも」きょうから仲間だ」の閉級式に始まり、キャンプ研修、きもだめし大会、史跡めぐり、昔のおもちゃづくり、クリスマスパーティーなど、十一回の学習を実施してきました。  
式では学級生七十四名全員に終了証書が手渡されました。また古内紀子さん外五名が皆勤者の表彰を受けました。

続いて教育長、公民館長のあいさつ、来賓を代表して藤田小学校の瀬戸校長先生の祝辞をうけ閉式となりました。  
このあと、お別れパーティーが開かれ、親子一緒になってレクゲームを楽しみました。  
最後にサークルっぽかったの遠藤会長より「いつまでも友情を大切にしてください」とあいさつがあり、別れを惜しみながら閉会いたしました。

### 町民文化財教室

スライドによる町民文化財教室が二月九日午後、町公民館で開かれました。

この教室は、数多くある町の文化財を、よく知っていたらこうと、町教育委員会、町郷土史研究会の主催で開かれました。教室はスライドを使って、町文化財保護審議会委員の菊池利雄さんの説明を受けました。国史跡の阿津賀志山の防塁跡や石母田城、藤田城、沼田神社本殿の彫刻などが紹介され、参加者の皆さんは、郷土の歴史を振り返って、有意義な学習となりました。



▲熱心に耳を傾ける受講者の皆さん



▲コンサート風影

### 国見フラウエン

手づくりのコンサート

お母さんコーラス・国見フラウエン（渡部良子会長）主催の「ザコンサートKUNIMI87」と銘付った手づくりのコンサートが、二月一日午後開催されました。

フラウエンの皆さんによる美しいコーラスで幕を開け、続いて町在住のアマ演奏家四人が、ピアノ、フルート、クラリネット、ユーフォニアムを独奏し、美しい音色を響かせました。

再び、コーラスのきれいなハーモニーを聴かせたあと、最後は会場に詰めかけた音楽好きな皆さんと、出場者全員で「早春譜」を合唱し幕を閉じました。

### 体育指導委員 先進地研修

町体育指導委員会の研修旅行が、二月一日、十名が参加して行われました。

視察地は、スポーツ、レクリエーション基地建設で脚光を浴びている、柳倉町の総合体育館を視察しました。

主競技場（一八一四席）を中心に、柔道場、卓球場、トレーニング室を備えた最新設備の体育館で目を見張るものがあり、スポーツの場、心のふれあいの場として活用されているそうです。

懇談会では、体育協会、体育指導委員会などの活動状況についての説明を受け、有意義な研修会となりました。



▲体育指導員の先進地視察

今後の本町のスポーツ活動の活性化に大いに役立つと思われるます。

### 中央婦人・乳幼児学級 「家庭看護法について」

両学級による「家庭看護について」の学習会が、一月二十一日と二十八日の二回にわたり開催されました。

日赤家庭看護教師の武田玲子さんの指導で、家庭での病人の介護について、病人の寝かせ方、食事の世話、伝染病予防などについて学びましたが、病人の気持ちになって看護することが大切であることを学びました。



▲熱心に受講する婦人学級生

### おしらせ

#### ☆町民講座受講生募集

#### △ワープロ教室

期日 三月七日、十四日  
時間 ○午前コース  
九時から十二時まで

○午後コース

一時から四時まで

二日間六時間の講習時間  
定員四十名（定員にてメ切）  
（午前コース二十名）

（午後コース二十名）  
会費 五〇〇円

#### △町民スキー教室

期日 三月一日（日）

場所 裏磐梯猫魔スキー場

会費 三、〇〇〇円

定員 五十名（中学生以上）

交通 福島交通バス利用

※申し込みおよび問い合わせ  
町公民館（八五二六七六）

#### ☆町民卓球大会

期日 三月八日（日）

場所 町民体育館

多数の方々参加をお待ちしています。

わ  
だ  
い



### 冬のつどいで モチつき

一月二十一日、小坂小学校で、収穫祭を兼ねた「冬のつどい」が開かれ、百四十四人の全校児童がモチつきを楽しみました。  
勤労体験的学習の一環として、昨年十一月に収穫した米を用いて、モチつき集会をする事によって、収穫の喜び、集会の楽しさを味わってもらい、また、



▲おいしいあんこモチのできあがり

自分たちで苦勞して作ることに  
よって協力の大切さを取らさ  
せ、「たくましい子ども」に近  
づけるため行っているもので、  
今年で三回目を迎えました。  
この日は、晴れてはいたもの  
の寒風吹き、肌寒い天気でした  
が、一年生から六年生までが交  
った六班で、かわるがわる元氣  
にモチをついていました。

P.T.Aのお父さんやお母さん  
に手伝ってもらってつきあげた  
モチは三十キロ。さっそくあん  
こモチにして舌つづみを打って  
いました。

このあと、ダンスや小坂小ワ  
ルトライズなどをして、楽し  
いひとときを過ごしました。

### おとしよりと

#### 子供たちの交流会

徳江北部の長寿会と子供会の  
交流会が、去る二月八日徳江北  
部公民館で行われました。

当日は、三月下旬の陽気でよ  
い天気に恵まれたため、集まっ  
た参加者は、おとしより、子供  
たち、保護者で総勢百名を超え  
ました。

交流会に先立ち、長寿会の皆  
さんが、二月七日に公民館や観  
音様境内のおそうじをしてこの  
日を持ったということです。

午前十一時ごろからモチつき  
が始まりました。子供たちは千  
本杵でおとしよりたちは普通の  
杵で十ウスのモチをつき上げま  
した。つき上がったモチは雑煮  
ときなこモチにして、おいしそ  
うに食べていました。

午後は、男の子はおじいさん  
たちと竹馬作りをし、竹馬乗り、  
タコ揚げ・コマ廻しなど、女の  
子はおばあちゃんたちにチャッ  
ク取り(お手玉)の遊び方を習いま  
した。なかなかうまく廻らない  
コマや、上手に出来ないチャッ  
ク取りなど昔の遊びで時間の過  
ぎるのも忘れる程でした。

おとしよりの交流会に参加して、  
おとしよりの子供たちもい  
つになくいきいきして楽しそう  
でした。



▲千本杵でモチをつく子供たち

### 書きぞめ大賞に かがやく



石川克典くん

### 登楼万里春

石川克典くん  
の作品



賀藤 忍くん

第三十一回福島県学童書きぞ  
め展が、二月十日から十五日ま  
で福島市の山田デパートで開か  
れました。

その展覧会で、県北中学校三  
年生の石川克典くんが、書きぞ  
め大賞にかがやきました。

全県から十六万八千点もの作  
品が出品され、大賞三十六人中  
の一人に選ばれたものです。

石川くんは、また、表彰式に  
受賞者を代表して謝辞を述べま

した。  
同じく、森江野小学校五年生  
の賀藤忍くんが、理事長賞を受  
賞しました。

### 編集日記

○こよみのうえで「立春」で  
はなく、本当に春に先だつたよ  
うな天気が続きました。先日、庭  
先に福寿草が咲いているのを見  
つけました。いつもは三月にな  
らないと咲かないのに、暖かち  
に誘われて咲き出したものと思  
います。

○最近地震が多いですね。とこ  
ろで「地震雲」というのがあ  
るをはじめて知りました。同僚の  
Yさんが、二回とも地震雲をみ  
て、地震があると予言したという  
のです。もちろん的中しました。  
飛行機雲のような細長い雲だそ  
うです。これから気がつけ  
て見てみたいものです。

○広報担当のSさんが結婚しま  
した。これからは、身も心もお  
ちついて仕事が出来ることと思  
います。お幸せをお祈りいたし  
ます。

○にわかに、Sさんの代わりに  
ペンを取りました。書くのは大  
の苦手、原稿用紙の余白をみて  
ため息が出ました。書いては消  
し書いては消しの連続でした。M